

第2回 露地野菜情報交換会（ねぎ）結果概要

ねぎ生産者やJAを対象とした、ねぎの需要や全国の産地の動向に関する情報交換会を開催しました。

日時	令和2(2020)年2月3日(月) 13:30~15:30
場所	栃木県庁研修館302研修室
内容	(1)ねぎの需要や全国の産地の動向及び栃木県の展開可能性 講師：株式会社TFY 板橋社長、廣瀬専務、津野マネージャー 株式会社ファーマーズトラスト 出浦社長、加賀谷室長 (2)情報交換会、個別相談会
主催	栃木県農政部生産振興課
参加者	63名

【主な講演内容】

ア 全国の産地の状況

- 東北地方、特に秋田県で水田を活用したねぎの作付けが増加している。
- 全作業の8割を出荷調整作業が占めるので、人員確保と動線等の効率化が重要。他県では効率的な出荷調整ラインを組み、大規模経営体(15ha等)が出てきた。
- 人員確保のため、TFYが特定技能外国人の登録支援機関となり、産地に派遣する取組を始めた

イ 需要の動向

- 最近8~10月のねぎが狙い目。東北地方が当該時期のねぎを作付けしているが、お盆、病害虫、台風等の理由で出荷が安定していない。
- TFYではねぎの需要があるので、取扱量を増やしていきたい。

【参加者の声】

- 今後作付け拡大するにあたり、出荷調整作業の効率化や人員確保について、大変参考になった。
- もっと講師の話を聞きたかったので、情報交換の時間を長くしてほしい。

《情報交換会の様子》

